

株式会社 最上世紀



代表取締役
齋藤 明

山形県
尾花沢市大字尾花沢1 326-1

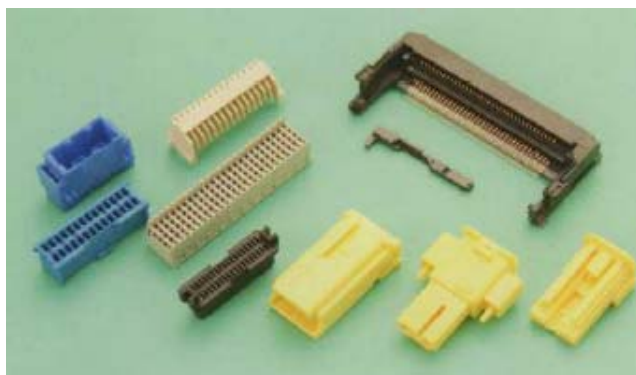
1979年(昭和54年)設立
TEL 0237-23-3511

一貫生産で高品質
のプラスチック部品

自動車関連、電子・通信機器など幅広い分野で使用されるエンジニアリングプラスチック製部品メーカー。高品質を実現し成長産業に貢献。

エンジニアリングプラスチック

同社は、耐熱性や硬度に優れるエンジニアリングプラスチック製部品の製造業者。設計開発から金型製作、成型加工、塗装、印刷、組立を経て検査・出荷に至るまで一貫して自社工場で行い管理する生産体制を確立し、高品質の製品を生み出している。



同社製品（コネクタ）

中国に進出、国内との相乗効果も発揮。

平成7年、製造業の海外移転、いわゆる「空洞化」対策として、中国（大連）に全額出資の現地法人を設立。中国に進出した日系メーカーからの増産要請に応じる形で平成16年には第2工場を建設し、現在では約1,000名の従業員を擁している。生産面だけではなく、従来は取引のなかった国内メーカーへの新規開拓にもつながっている。

地域社会にも貢献

同社が所在する山形県尾花沢市は、山形県内でも有数の豪雪地帯である。齋藤社長が創業した昭和44年当時は農業以外の産業集積は乏しく、冬季の出稼ぎが常態化していた。齋藤社長は、「若者が故郷で就職できる場所を作りたい」という思いからUターンして創業し、同社を（製造子会社の（株）最上世紀エンジニアと合わせ）250名を超える従業員を擁する同地区指折りの企業に育て上げた。雇用を通じて地域社会の発展に貢献し、齋藤社長は、日刊工業新聞社が主催する「第23回優秀経営者顕彰」で「地域社会貢献者賞」を受賞している。